

文化市民局 予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
岡崎文化ゾーン地区計画策定	<p>京都市の文化振興の拠点である岡崎地域は、京都会館や美術館、みやこめっせ等の大規模文化施設の集積により、独特のまちなみが形成されており、優れた都市空間として評価されている。しかし、一帯が周囲の住宅地と同じ建築規制であり、多くの施設が法規制に適合しない既存不適格状態となっている。このような状態では、地域の活性化を図るための施設整備に対する法的リスクが高く、特に民間資金を利用した手法をとる場合には、そのリスクのために実施が困難になると予想される。</p> <p>平成19年度に京都会館及び岡崎地域について行った市民アンケート（20歳以上の市民2,000人無作為抽出、有効回答数1,084（回答率54.2%））の結果では、京都会館や美術館などの文化施設が岡崎地域の景観構成要素となっているという回答や、岡崎の雰囲気の良さは京都会館や美術館などの文化施設が集まっているためであるといった回答が多くを占め、岡崎地域を文化ゾーンとして活用していくことが望まれていることが明らかとなった。</p> <p>京都会館の再整備を機に、岡崎地域をどのようなまちとしていくのかを協議し、その結果を具体的な形にした、地域版都市計画といえる地区計画を策定することにより、法的課題を整理し、地域全体の活性化への展開を図る。</p> <p><成果目標> 文化ゾーンとしての地区計画を策定し、今後の地域活性化に向けた施設整備を可能としていく。</p>	12,231	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
サッカースタジアム整備（西京極総合運動公園再整備）	<p>平成18年6月にサッカースタジアム検討委員会から西京極陸上競技場兼球技場の全面改築が報告され、現在は最終提言に向けた協議が行われている。この内容を踏まえて、20年度は基本計画の策定等を実施する。</p> <p><成果目標> 平成24年度完了を目標に整備を行う。</p>	21,000	<input checked="" type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討 <input type="checkbox"/> [局配分枠において検討を]進める。

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。

文化市民局予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
二条地域体育館整備 (埋蔵文化財調査)	<p>市内14箇所設置を目標に整備を進めている地域体育館について、19年度で11館目となる右京地域体育館の整備が完了することから、20年度から二条地域における地域体育館の整備に取りかかる。整備初年度として、20年度は埋蔵文化財発掘調査を実施する。</p> <p><成果目標></p> <p>23年度供用開始を目標に整備を行う。</p>	68,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
甦る京の風景	<p>市街地の約3分の1が埋蔵文化財包蔵地である本市では、発掘調査により数々の遺跡が明らかになっているが、発掘調査後には、開発工事によりその多くが失われている。これらの遺跡を後世に伝えるため、実測図や写真等の既存データを基に遺跡等のデジタル立体復元を行い、遺跡の解説文とともにインターネットで情報発信する。</p> <p><成果目標></p> <p>5箇年で既存データのデジタル化を行い、遺跡の解説文とともにインターネットで情報発信する。</p>	78,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
上京区総合庁舎整備	<p>上京区役所は、昭和12年の竣工から築70年が経過し、老朽化や狭隘化が著しい。また、保健部が別庁舎となっており、駐車スペースも狭いことから、総合庁舎の早急な建設が課題となっていた。平成17年4月には各学区の代表者の連名で要望が出される等、地元においても新総合庁舎の整備が長年の要望となっていることから、現庁舎敷地での建替えを基本として隣接敷地の先行買収を目指している。</p> <p>平成20年度は、総合庁舎整備に係る基本計画策定とPFI・DBM等の整備手法を含めた効率的最適手法の調査を実施する。基本計画の策定に当たっては、その後の効率的最適手法調査で必要となる法規制等の条件や、求められる環境性能、バリアフリー機能等を計画に盛り込みながら、諸室面積や機能の基本的な仕様を定めていく。</p> <p>また、親しみやすく利用しやすい、地域活動活性化の拠点となる総合庁舎を整備するために、市民参加のワークショップ等を実施し、その内容を基本計画に反映させていく。</p> <p><成果目標></p> <p>総合庁舎整備に係る基本計画を策定し、併せて庁舎整備のための最適手法を検討する。</p>	9,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。